



教育目標 なりたい自分・仲間・学校に成るためにチャレンジする児童の育成

授業・クラス・学校をつくるのは自分、そして自分たち

めざす学校像

- 子どもたちが学校生活を楽しいと感じ、ともに育ち合える学校
- 常に子どもファーストで考え、教職員が協働して子どもの成長を支える学校
- 家庭や地域の信頼に応える学校

めざす児童像

- なりたい姿に向かってチャレンジできる子
- 自分や友達のがんばりや成長を見つけたり、応援したりできる子
- 自分で考えてすすんで行動(学習)できる子
- 他者と話し合い、問題を解決したり、新しい考えを生み出したりできる子

めざす教師像

- 失敗や違いを宝物とし、子ども一人一人のがんばりや成長を適切に見取り、価値づけられる教師
- 愛情のある指導ができる教師
- 授業で子どもの力を高められる教師
- 子どもを信じて、待てる、任せられる教師

今年度の重点(取組等)

確かな学力の育成

- 各教科における「資質・能力」と学習の基盤となる「資質・能力」の育成
1. 学びや成長を実感できる授業の実現
 - ・カリキュラムマネジメントの充実(重点単元の設定、有機的な教科のつながりの意識化)
 - ・学校研究、若プロ研修を通しての授業の質的改善(東陵スタイルの推進)
 2. 学習内容の習熟、基礎基本の定着
 - ・組織的な推進(ロードマップ)
 - ・共通システムの構築・推進(帯タイム、朝タイム、家庭学習等)
 3. GIGA スクール構想の推進
 - ・一人一台タブレットを活用した効果的な指導の推進
 4. 総合的な学習の時間の充実
 - ・SDGs教育、キャリア教育の推進
 - ・児童の「～したい」を大切に探究活動の設定

豊かな人間性・社会性の育成

- 自ら考えよりよく判断し行動する力、互いに助け合い協力しようとする力の育成
1. いじめ・不登校への組織的対応
 - ・定期的な調査、きめ細かな見取り、家庭との密な連携、全校での情報共有
 - ・遅刻や欠席児童や問題への組織的対応
 - ・キラリタイム等「楽しい交流」の場の設定
 2. 自己肯定感を高める取組の充実
 - ・「なりたい自分」に向けてチャレンジし達成感を感じる場の設定
 - ・成長やよさを見つけ、自己有用感を感じる場の設定(輝く場の設定)
 3. 自治的な集団づくりの推進
 - ・生徒指導の3機能を生かした学級づくり
 - ・学級の課題(成長の種)を成長に変えていく学級会システムの構築と推進
 - ・学校会議のシステムの構築と推進
 - ・成長を喜び合う場の設定
 4. 道徳教育の充実
 - ・「考え議論する道徳」の授業の充実
 - ・道徳教育の推進と研修の充実

健やかな身体の育成

- 健康、体力向上、安全を考え、適切に対応できる心とたくましい身体の育成
1. 基本的な生活習慣の確立
 - ・家庭との連携、発信(メディア利用の約束、ノーメディアデーの設定等)
 - ・学級活動による指導の推進
 2. 体力・運動能力の向上
 - ・達成感のある体育科の授業の充実
 - ・一校一プランの共通実践による課題の克服
 3. 命を守る取組の推進
 - ・コロナウイルス感染症対策の徹底
 - ・アレルギーや病気やけがの予防に向けての組織的対応
 - ・避難訓練等による危機対応の推進
 - ・職員研修による共通理解

働き方改革

- ・校務の効率化(校務支援システムの有効活用)
- ・行事、日課表、カリキュラムの見直し
- ・分業による校務の分担、平準化
- ・定時退校日、最終退校時刻、学校閉庁日の設定、給食時間の有効活用

家庭・地域との連携

コロナ対策・防犯・安全対策・挨拶運動・基本的な生活習慣と家庭学習の定着・授業参観(学校公開)
メディア対策・情報発信(ホームページ、各種たより等)・学校評価 → 感想や評価をもとに改善